

## 2 医療・健康・福祉の充実

医療人材の確保では、新たに新潟県と連携し、医学部の地域枠の学生への修学資金の貸与や、看護学生への通学費や家賃の一部を補助する制度を設け、医師、看護師確保につなげてまいります。

市内産婦人科確保については、引き続き、県や糸魚川総合病院と連携して医師確保の取組を進め、安心できる医療体制の維持を目指してまいります。

子育て世帯や妊産婦への支援として、18歳までの子どもと、妊産婦の通院に係る窓口負担の無償化を実施するとともに、身近に相談できる伴走型の相談支援と経済的な支援を一体的に行うほか、子育てに困難を抱える世帯に対し、家事支援ヘルパーの派遣を通じて多様化する子育て世帯が抱える課題の解消を図り、子どもの健全育成につなげてまいります。

また、子育て支援の充実や駅北の賑わいづくりを進めるため、悪天候でも子どもが遊べる屋内遊戯場や子育て支援センター等の機能を有する、駅北子育て支援複合施設の整備を進めてまいります。

介護人材の確保では、介護事業所が進める求人・採用活動に要する経費の一部を助成するほか、若手の介護職員による意見交換の場を設けるなど、介護人材の定着に向けた新たな取組を進めてまいります。

健康づくりの推進では、働き盛りの若い世代にむけた普及啓発として、企業を対象としたウォーキングイベントや健康ポイントラリーなどを活用し、健康づくりへの意識づけを進めてまいります。

## 3 教育の推進

中学校の休日の部活動の段階的な地域移行を見据え、競技力、技術力の向上のほか、部活動を通じて楽しさや喜びを感じることができるよう、部活動指導員の配置に向け関係団体と調整してまいります。

高校の魅力化に向けた取組としては、コーディネーターを増員し、市内3高校への支援を充実させることで、高校生が目指す進路や目標が実現できるように支援してまいります。

成人年齢引き下げに伴う対応として、18歳を

対象とした成人式を開催し、新成人のお祝いをするとともに、成人としての自覚と心構えなどを啓発してまいります。また、これまでの成人式は、はたちの集いとして開催いたします。



令和4年度はたちの集い

## 4 社会の動きへの対応

DX（デジタルトランスフォーメーション）推進として、デジタルツールの導入による行政事務の効率化と、市民サービスの向上を目指し、e-市役所推進事業やデジタル活用推進事業を実施します。

世界的な課題となっている海洋プラスチック問題については、セミナー等の開催により普及啓発を進め、環境負荷低減に向けた取組を推進します。

急発進抑制装置の購入費を助成することで、高齢ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故防止や、万が一の際の被害の軽減を図るとともに、安全運転の啓発に努めてまいります。



令和4年度に開催された海洋プラスチックセミナー